



群馬県山岳連盟
 前橋市大手町1丁目1-1
 群馬県庁観光物産課内
 (0272) 23-1111
 編集委員 群馬岳連編集委員会
 責任者 羽野順一
 印刷所 森田印刷

あそびしま国体を終えて



国体委員・成年女子監督

赤松久宇

○本国体の成績

平成七年度の「ふくしま国体」山岳競技は、十二年前の「あかぎ国体」以来の成果を修めることができました。私は昨年まで成年男子の選手でしたが、今年は成年女子の監督として参加しました。成年男子においては私が選手から外れたとたんに飛躍的な好成績を修め複雑な心境でしたが、まずは本国体での成績をお知らせします。

佐藤利雄、赤見順一、飯塚富久
 総合 十二位
 縦走 十二位の競技と違い、半年間、国体のたに向かうことができました。少年国体の山岳競技は、国体の複合競技で、三人（登攀競技だけは内二人だけ）が縦走、登攀、踏査の三種目で争いその合計点を競う競技です。

以上が群馬県代表の成績です。（入賞は八位まで）
 成年男女とも久々に総合入賞ができませんでした。少年男女も後一步で総合入賞でしたが、わずかにおよびませんでした。

少年男子（監督―吉田満）
 少年男子（監督―吉田満）
 少年男子（監督―吉田満）

佐藤利雄、赤見順一、飯塚富久

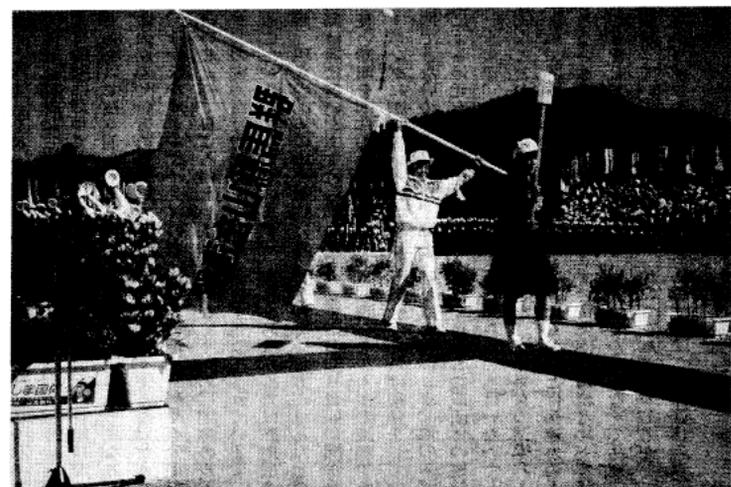
総合 十二位

縦走 十二位の競技と違い、半年間、国体のたに向かうことができました。少年国体の山岳競技は、国体の複合競技で、三人（登攀競技だけは内二人だけ）が縦走、登攀、踏査の三種目で争いその合計点を競う競技です。

以上が群馬県代表の成績です。（入賞は八位まで）

成年男女とも久々に総合入賞ができませんでした。少年男女も後一步で総合入賞でしたが、わずかにおよびませんでした。

少年男子（監督―吉田満）



群馬県山岳連名旗を先頭に入場

三つの競技の中でも登攀と踏査は現地でのトレーニングと下見の量が順位を大きく左右します。従って現地での合宿内容は半分が踏査の下見で、三分の一が登攀のトレーニング、残りが縦走のタイムトライアルになります。また、少年は登攀がないため合宿中の踏査の下見の割合がもっとも多いようです。お陰でルートの情報を随分教えてもらえました。合宿をできるだけ重ねたつもりでも本番まで不安は無くなりません。特に登攀はオンサイト形式で行われるため他県との条件は同じとはいえず、ルートをどこまで攀れるか心配でしたが...

結果は上々、一日目の登攀が二位、二日目の踏査が一位とこの段階で本国体への出場権を確実にし

めに時間を費やしてもらえない人は、例年以上の参加者がいないかと国体委員が一生懸命に集まり、力の有る生徒が多い中、探すのです。幸いここ数年は、実選手選びに苦労していたようです。力のある選手が積極的に取り組んできたため、その苦勞も少なくなっていました。例年、県予選が先月、関係者は十月の本国選への成年の参加は少なく、予選体が終わるまでは国体一色です。というより顔合わせを兼ねた身内、今回の関東ブロック大会は、七月の大会の雰囲気です。いつもは二十一日二十三日に茨城県の日立の大会の参加者が選手に決まっていますが、好成績を残すには、現地でのトレーニング、少年女子で参加している三人と、去下見が最も効果的だと考えて、延年まで少年女子の選手だった一人、去十五日の合宿を実施しました。競技の内容を簡単に説明すると、三人（登攀競技だけは内二人だけ）が縦走、登攀、踏査の三種目で争いその合計点を競う競技です。



地元の歓迎アトラクション



開会式での群馬県選手団

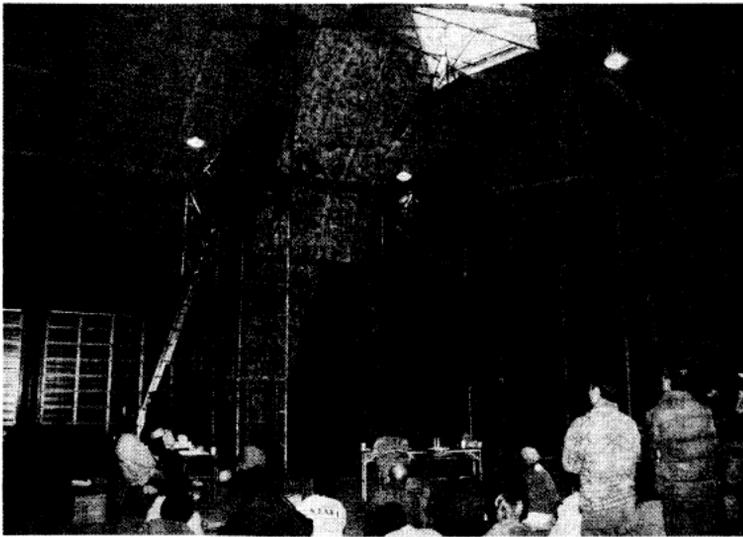
フリークライミング群馬カッパを

開催して

クライミング部 加藤 恒夫

岳連内にクライミング部が創立 楽しめること、そして年一回の競 さられたことに伴い、その活動の中 技会として目標や励みになるよう す。これも、関係の皆様方のご援 心的事業として「群馬カッパ」を なイベントとしたいと考えました。 助ご協力の結果であり、あらため 昨年十一月二十六日に開催しまし そのために、なるべく全国レベル てお礼申し上げます。

に近いうちに、運営を行いたいと 催すために、選手自らが壁を作 るという、かなり変則的なことも 行わざるを得ませんでした。2 桁 も少ない予算でジャパンツアアの まねをすることに無理があるとい うことでしょうか。今の方法では もう限界なのかも考えました。



ミドルクラス成績表

順位	氏名	所属	予選高度	決勝高度
1	田島 崇	行登 会	完登	10.35+
2	原澤 輝	藤登 会	完登	9.6-
3	伊藤 玄	口之 前	完登	6.9-
4	山崎 健	口之 前	完登	9.45+
5	関崎 健	口之 前	完登	9.45
5	梁瀬 洋	口之 前	完登	9.45
7	大井 正	口之 前	完登	6.9-
8	酒井 泰	口之 前	完登	9.25+
9	大竹 泰	口之 前	完登	6.9-
10	大竹 泰	口之 前	完登	9.25
11	岡田 武	口之 前	完登	6.9-
12	杉田 信	口之 前	完登	9.25
13	小野 知	口之 前	完登	6.55
14	伊藤 慈	口之 前	完登	6.47
15	赤松 久	口之 前	完登	6.4+
16	長嶋 陸	口之 前	完登	5.7+
16	小霞 達	口之 前	完登	5.7+
18	須田 博	口之 前	完登	5.7
18	青木 雅	口之 前	完登	5.7
21	長谷川 喜	口之 前	完登	5.7-
22	星野 久	口之 前	完登	5.5+
22	清水 夏	口之 前	完登	5.5+
22	久保田 一	口之 前	完登	5.5+
22	岩田 佳	口之 前	完登	5.5+
26	小暮 文	口之 前	完登	5.5
26	田村 文	口之 前	完登	5.5
26	小泉 辰	口之 前	完登	5.5
29	矢島 友	口之 前	完登	5.25+
29	Jimmy Houerbach	口之 前	完登	5.25+

エキスパートクラス成績表

順位	氏名	所属	予選高度	決勝高度
1	若原 一	智 (藤岡)	完登	11.75-
2	日野 雅	之 (前橋)	完登	10.2-
3	飯塚 康	弘 (藤岡)	完登	9.7
4	金子 悦	治 (藤岡)	完登	10.35-
5	横川 昭	昭 (境玉)	完登	9.45+
6	加藤 揚	子 (境玉)	完登	9.9-
7	茂木 利	子 (境玉)	完登	8.2
8	権田 知	彦 (高崎)	完登	10.85-
8	赤石 桂	一 (高崎)	完登	7.0-
8	嘉村 肇	晃 (高崎)	完登	10.35+
11	河野 光	直 (高崎)	完登	9.6-
11	保原 直	直 (高崎)	完登	9.6-
13	栗原 直	直 (高崎)	完登	9.6-
14	丸岡 尚	尚 (高崎)	完登	9.6-
15	新井 尚	尚 (高崎)	完登	9.6-
16	福田 正	正 (高崎)	完登	9.6-
17	栗原 幸	幸 (高崎)	完登	9.6-

()は、非岳連の人の出身地、住所地

アイスクライミング講習会報告

やはり、規模が大きく、質の高い常設のウォールが出来ないことには恒例のイベントには出来ないのかとも考えました。そのためにも、県内に質の高いウォールの設置が求められます。

・ 協力力をいっただい、尾島様
山とスキーの店石井様、金沢青様
(有)アース様、原田惣司様、倉
山山岳会様、リカーウォール様、
(株)コーソー様、大工英明様、
倉淵村クライミングガールデン様、後援
団体の皆様

今年から「氷壁技術講習会」から「アイスクライミング講習会」に名称を変更した。なんでもカタカナが良いとは思われないが、パチカライスをいかに登るかという時代に、少しでも新しい講習会に思いついたからだ。

第一回の群馬岳連氷壁技術講習会は一九七四年に松木沢で行れた。前年、RCCIIのエベレストに参加した、境町山の会の小暮勝義さんが持ち帰った、氷壁用のピッケル・スクリーナー・ハーケンを使い、最新のダブルアックス技術を紹介した。

当時は、氷壁用のピッケルがなく、シュイナードをモデルに、ストレットのピッケル無理やり曲げた改造ピッケルを作ったりした。

その一本を持っていて、ピッケルの角度など良くできていて、今でも充分使えそうである。

アイゼンも鍛造の八本爪を持つ

技術と信用で地域社会に貢献する

万屋建設株式会社

取締役会長 星野 光

本社 群馬県沼田市下之町880番地 TEL 0278(23)4648(代表)

支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-985-7631

て来た人がいて、皆に笑われたのを見て覚えている。さすがに八本爪ではどうにもならなかった。

今年の講習会は、二月四日、松本で行われた、晴天に恵れ、11名の参加者があった。

参加者を三つのグループに分ける。通信の交通整理に力を発揮(桐生)。

経験者は夏小屋沢で、主にプロテックションの取り方を、他は黒沢で基本的な技術の習得を行った。

松本は例年以上に、人が多く、混雑していた。限られたゲレンデで十分に登る事ができなかった。

予想された事なのに、何ら対策を取らなかった事を反省し、次回に生かしたい。

来シーズンには、西上州での講習会を予定している。

記 指導委員長 阿部 運

96年岳連各会 冬山合宿目標達成

昨年末冬山合宿検討会に続き、合宿報告会を一月十八日、チーフリーダーと遭対部二十名にて開催した。

松水副理事長より総評として、冬の剣岳に大きな足跡を残した桐生山岳会・境野山の会・群馬山岳会・ヤマ山岳会は群馬岳連に実績という宝を印し、特にヤマ山岳会は自分達が登ったルートをイラストでの記録報告はすばらしい事であり、是非他山岳会も参考にし、今後報告書と同時に報告してくれば幸いです。正月は終わったけれども冬山は続くので、安全登山を続けるよう話された。

無線機の事前点検・電池の良否を相談役 沼田 西山千秋 隊長 高崎 新井邦光 副隊長 独峰 茂木 稔 小委員 太田 町田幸男 境野 小暮文彦 清水裕千 柳沢 章 松井 木村正巳 沼田 梁瀬佐市 沼田 山田重之 独峰 伊藤雅之 前橋 後藤真人 前橋 齊藤直樹 山岳会・群馬むすびの会 ミヤマ 福本誠志 協力隊員 沼田 松水幸雄 沼田 中島博恵 沼田 青木睦佳 独峰 小澤 勝 境野 大山洋次 伊勢崎 山口英男 伊勢崎 星野龍史 ミヤマ 年間行事計画 三月二十六日 三月二十六日 救助隊結団式 担当 全体 五月十二日 五月十二日 整備整備 担当 柳沢他 五月十九日 五月十九日 隊員訓練 裏紗義アサオの滝 担当 柳沢 六月二十九日・三十日 六月二十九日・三十日 隊員訓練 ハナゲの滝(全国遭対協議会アモ)担当 小暮 九月一日 九月一日 遭対協議会 担当 小暮 九月一日 九月一日 隊員訓練 ハナゲの滝 担当 清水 十二月九日 十二月九日 冬山検討会 担当 新井

Table with 3 columns: 行事名, 担当者, 備考. Lists various mountain activities and their organizers.

1996(平成8)年度 行事予定 (4~8月)

Table with 3 columns: 月日, 行事概要, 参加者等. Lists monthly activities and participants.

群馬県高体連登山専門部

Table with 3 columns: 参加者等, 場所, 備考. Lists participants and locations for mountain activities.

96' 群馬の山カレンダー収支決算報告 事業部

Table with 3 columns: 収入の部, 支出の部, 差引. Financial report for the mountain calendar project.

Table with 3 columns: 利益, 岳連会計へ, 事業部会計へ. Summary of financial results.

受領書 群馬県山岳連盟 会長 星野 光 様 金700,000円 ただし、尾瀬保護財団基本財産への寄付金として上記のとおり受領しました。 平成7年12月26日 財団法人尾瀬保護財団 理事長 小寺 弘 之

美と健康のお手伝い ブリジストン自転車 ナショナル自転車 ホンダのオートバイ サイクルショップ ヤギルラ 前橋市下細井町139-3 TEL 0272-31-1308

有限会社 山とスキーの店 石井 DreamBOX 伊勢崎市宮子町78街区1819-1 TEL.0270-21-8025 FAX.0270-21-8026